学校等公共建築物の木造木質化促進シンポジウム

趣旨：

九州はスギをはじめとした木材資源が豊富であるにもかかわらず、公共建築物の木造化の事例は少なく，特に学校等大型木造の事例が未だに珍しいのが現状である。環境問題に端を発した木材の利用促進は次第に理解されてきており、各地方公共団体でも方針が整備されているにもかかわらず、なぜ木造化が進まないのか。

近年の全国的な事例をみて、何が問題なのか、その解決法はあるのかなど具体的な対策を知り、九州の状況に当てはめることにより議論を深めていきたい。また、木質化が人にとってどのように良いのかといった根本的な話題を含め、とくに今回は、建築、学校教育、森林環境、居住環境等の関係者などによるクロスオーバーな意見交換により、木造化促進の壁となっている本質にせまり、対応策をまとめる機会としたい。

主催：　木と建築で創造する共生社会実践研究会（A-WASS）、
（公社）日本木材加工技術協会九州支部、（一社）日本木材学会九州支部

開催日程：　２０１６年1月２６日（火）１３：４５～１６：３０（受付１３：１５から）

場所：　福岡市民会館　小ホール（〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 5−1−23）
会場には駐車場がないため、公共交通機関を利用してお越しください。

講演：　長澤　悟　氏　（A-WASS 会長、東洋大学　名誉教授）
仮題　「学校建築における木造化の課題と対策」
清水　邦義　氏　（九州大学大学院農学研究院准教授）
仮題　「木質内装とヒトの相性について科学する」

パネルディスカッション：

司会：　花岡　崇一　氏　（A-WASS 事務局長）

パネラー：　長澤　悟　氏　（A-WASS 会長、東洋大学　名誉教授）
井上　正文　氏　（大分県建築士会会長，大分大学工学部　教授）
新貝　敏憲　氏　(有)新貝商店）
赤羽　元　氏　（熊本県農林水産部森林局森林整備課長）
清水　邦義　氏　（九州大学大学院農学研究院准教授）

参加対象：建築関係者、公共物営繕および林務関連行政、教育関係者、木材関係者

参加費　：　資料代として２０００円

参加申し込み、お問合せ：

当日受付でも参加いただけますが、事前準備のため所属、氏名を以下までお知らせください。（〆切１月２２日（金））

担当　藤本　E-mail:fujipon@agr.kyushu-u.ac.jp
TEL　092-642-2986、FAX　092-642-2985